

山江村議会だより

No.97

まるおか



目次

- 第4回定例会 P2
- 一般質問 P3~8
- 第5回臨時会、正副委員長研修会・ P9
- 編集後記「だんだんなぁ」 P10

山江保育園 七夕まつり

令和7年7月31日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

令和7年第4回山江村議会定例会

令和7年6月11日から13日までの3日間、第4回定例会を開催し、繰越明許費などの報告4件、令和6年度補正予算の専決承認7件、同意2件、条例改正等4件、契約締結5件、令和7年度補正予算2件、請願1件の合計26件を可決しました。令和7年度一般会計補正予算は1520万3千円の追加、また特別会計国民健康保険事業補正予算は24万6千円の追加、そして農業集落排水事業会計補正予算が可決されました。

可決した主なものは

■山江村教育委員会教育長の任命に関する同意

前教育長の任期満了に伴い、内田正紀氏を適任者と認め同意することに決定した。

■山江村固定資産評価員の選任に関する同意

4月の人事異動に伴い、現税務課長の新山孝博氏を同意することに決定した。

■財産の処分について

森林資源の循環活用のため、村有林2,400㎡を処分するもの。

■公共工事請負契約の締結について

・令和7年度2災補道第4454号 村道吐合宇那川線道路災害復旧工事

・令和7年度2災補河第4763号 宇那川河川災害復旧工事

・令和7年度2災補河第5687号 宇那川河川災害復旧工事

■物品売買契約の締結について

・令和6年度(繰越)山江村物産館ゆっくり個包装機購入事業

・令和7年度山江村小中学校学習用端末一式購入事業

令和7年度山江村一般会計補正予算(第1号)

主なもの

歳入

国庫負担金	障害者総合支援事業費補助金	62万7千円
国庫補助金	重点支援地方交付金	1,200万1千円
	地域スポーツ活動体制整備事業委託費	137万2千円
雑入	GIGAスクール事業委託金	119万4千円

歳出

税務総務費	定額減税補足給付金(不足額給付)	1,200万1千円
障がい者福祉費	システム改修委託料	125万4千円
教育ICT環境整備費	GIGAスクール事業旅費	113万8千円
保健体育総務費	地域スポーツクラブ活動	137万3千円

令和7年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算(第1号)

主なもの

歳入

県支出金	保険給付費等交付金	24万6千円
------	-----------	--------

歳出

一般管理費	システム改修委託料	24万7千円
-------	-----------	--------

令和7年度山江村農業排水事業会計補正予算(第1号)

主なもの

収入

雑収益	農村整備事業補助金	2,100万円
-----	-----------	---------

支出

処理場費	計画策定業務委託料	2,100万円
------	-----------	---------



北田 愛介 議員



■ 課税状況を伺う

■ 村内道路の安全施設の整備状況は？

■ 天候急変時の学校の対応は？

確定申告における申告状況は

問

令和6年分の所得税等の確定申告者と事業所得の農業申告者の状況を伺う。

答 税務課長

申告者は546人。事業所得の農業申告者は238人で44%となっている。

農家保有米の基準額の決定根拠は

問

農家の自家保有米を1袋30kg当たり1万1千円で農家収入として算定されているが、どのように決定されたのか伺う。

答 税務課長

J A熊本中央会作成の資料に基づき保有米価格60kg当たりが2万4千円であったため、30kg当たりに置き換え、山江村の状況を考慮して千円引き

て玄米1万1千円、粳7千7百円とした。

実際の販売価格より基準額が高い？

問

J Aの概算金は1等米でも30kg1万20円であり課税基準額が千円近く高い。どのように考えているか。

答 税務課長

市場価格の変動により、実際の販売価格が基準額と異なることがある。

高品質のものは、基準額を上回る価格で販売される可能性もある。申告においては、正確な収入と経費の記録が必要である。基準額については、J

Aの保有米価格、市場の動向を考慮して実態に即した価格の決定に努める。

村内道路の白線や横断歩道が消えている

問

村内道路の中央線、路側線、横断歩道が殆ど消えている。どのように対応しているのか伺う。

答 建設課長

日頃から道路パトロールにより点検を行っている。安全確保のため年次計画により整備を行っている。

防災安全交付金などを活用して適正管理に努めていく。

天候急変時の学校の対応は？

問

近年、学校での屋外活動中の落雷事故が発生しているが、危機管理マニュアルの作成や日頃の訓練は行っているのか伺う。

答 教育長

火災、地震、風水害、落雷等を想定したマニュアルを作成している。又、侵入者等を想定し、保護者や地域との連携を図りながら定期的に訓練を実施している。

常に子供たちの命を守ることを念頭においている。村民全体で子どもの命を育むことをお願いしたい。



ほとんど消えている横断歩道



山田小学校危機管理マニュアル



本田 りか 議員



■ 出産から育児・子育てに かかる費用について

■ 避難所における アレルギー対応食について

少子化対策としての
支援金を！

問

現在少子化の観点から、全国的に赤ちゃんの生まれてくる数が著しく減少している。厚生労働省によると、昨年1年間に国内で生まれた日本人の子どもは68万6,061人となっており、前年より4万1,227人減少しました。出生数の減少は9年連続ということ、1899年に統計をとり始めて以降、初めて70万人を下回ったというところで、近年の少子化は地域社会の将来にとって大変危惧される場所である。そのためには、皆さんに様々な面で不安なく出産していただくのが最善と考えられるが、その出産のためには分娩費用及び入院費用がかかるが、実際の程度の費用がかかるのか伺う。

答 健康福祉課長

産科医にて赤ちゃんを出産する際の費用は、正常分娩の場合、入院から退院までの総額で約40万円から60万円程度が目安となっている。

問

国からの出産育児一時金によって経済的負担の軽減になっているようだが、その額はどの程度か伺う。

答 健康福祉課長

お子さんお一人につき50万円である。また、当村では、「こんにち赤ちゃん祝い金」として、子ども1人当たり5万円の支給。「おめでとう赤ちゃんギフト」として、出産応援ギフト5万円、子育て応援ギフト5万円が支給される。

問

出産後、山江村には様々な子育て支援があるが、どういったものがあるのか伺う。

答 健康福祉課長

主なものとして、乳幼児健診の実施と費用助成、予防接種費用の助成、子ども医療費助成、子育てサロンの運営、保育料の軽減として、多子世帯や低所得世帯への保育料軽減措置を設けている。

問

妊娠されたお母さんは、出産までの間、最低15回から16回ほど健診のために産科医へ通う。そのためにはガソリン代、タクシー代もかかる。本村妊産婦検診の費用は受診券14枚の助成があるが、検査等は自己負担も発生している。この物価高騰が続く中、一時金の支給、もしくは助成の拡充をされる考えはないか伺う。

答 健康福祉課長

新たに支給することは考えていないが、既存の支援策の中での見直し等の検討は考えている。





立道 徹 議員

■村道吐合宇那川線について

■高寺院境内にある忠霊塔及び慰霊祭について

■山江村社会体育プール解体後の跡地について

■給食調理場について



村道吐合宇那川線について

問

災害復旧工事も徐々に終わっているが、山側の法面からの落石があり、土砂が、防護柵、ネットへ堆積している状況で、通行車両にも支障の恐れがある。この法面への落石対策の考えはないか。

答 建設課長

落石等の確認はしているが、全ての箇所、場所に、防護柵、防護ネットを設置することは困難である。危険度、優先度を確認しながら、検討する。

問

この吐合宇那川線を利用して、水力発電工事が実施される予定であるがその工事の施工時期、工期、施工方法、また、通行止め等は。

答 建設課長

小水力発電事業所に伺い、この事業は経済産業省の認可を得て行われる事業。

運転開始期限が、令和9年10月となっており、早期着手できたとして、今年、令和7年9月着手となる予定。また、水力発電認定の再申請も念頭に置かれているとのこと、令和8年1月頃の着手になり、工期は、1年半から2年程。舗装は管布設後に随時行い、時間通行止めを行う予定。

問

この施工で掘削深さは、2mほど、幅は1.5mほどであるため、土留め工の施工になり、管(Φ800)布設は、道路中心付近を布設していかないと山側は、法面崩壊の恐れがある。土留め工の施工であるので、時間通行止めも不可能であると思う。今後、打合せ等があるときは、このことを考

慮しながら、地域住民の方に迷惑がからないように最善の方法で取り組んでいただきたい。



村道吐合宇那川線落石状況



高寺院境内にある忠霊塔及び慰霊祭について

問

今年で山江村遺族会主催の戦没者慰霊祭が終わり、明年から、山江村が主体となり、形式を変えて開催されるが、どのよ

うな形での開催か。

答 健康福祉課長

遺族会も会員の高齢化に伴い、継続が困難であるとの申し出があり、村主催による戦没者追悼式を開催し、内容は、県内の追悼式を参考にする。(黙祷・追悼の言葉・献詠・献花・児童による平和への願いの朗読)

問

高寺院境内にある忠霊塔(忠魂碑)の移転場所は。

答 健康福祉課長

忠霊塔の全てを移転するには、スペースも必要となるので移転先は、検討する時間を頂きたい。



高寺院境内にある忠霊塔



白川 俊博 議員



■ 米・栗の生産現状は！ ■ 防犯カメラで 犯罪などの抑止を！



順調に育つ水稻

農産物	項目	4年度	5年度	6年度	7年度 見込	情報元
水稻	戸数(件)	253	244	227	227	営農計画より
	面積(ha)	115	104	103	105	政府資料より
	生産量(t)	529	489	476	485	政府資料より
栗	戸数(件)	194	194	194	194	役場資料より
	面積(ha)	124	124	124	124	(実態調査中)
	生産量(t)	120	75	72	80	役場資料より

水稻と栗の農家数と面積の過去3年と見込み。

答 産業振興課長

本村の主要農産物となる、水稻・栗の生産推移は。

問

令和7年度水稻・栗ともに生産量の拡大を見込む！

水稻防除の面積は増えると思われ現在の組合員

答 産業振興課長

栗栽培への農薬防除の助成はあるが、他の農産物へ助成の考えはないか。

問

次年度から混乱の無いよう期限や提出先など統一するように調整する。

答 産業振興課長

役場からの防除作業委託の申込み方法が水稻と栗で異なっていたが。

問

水稻防除はR4から43名17.8ha、R5は45名、19.2ha、R6は56名、21.4ha、栗園防除はR6から15名7.7haを実施している。

答 産業振興課長

ドローン防除による農薬散布の近年の状況は。

問



村内の防犯カメラ

村内の防犯カメラの設置状況を伺う。

問

村内の 犯罪事件(件数)	
R2	3
R3	4
R4	2
R5	3
R6	4

答 総務課長

近年、村内で窃盗や空き巣など犯罪事件はあつてい

問

防犯カメラ、道路や公共施設へ設置を検討！

数3名では手が回らない不安もある。今後は予算も含め調査検討する。

主要道路や公共施設などへの設置を優先する。財源確保も検討し現時点では事業所等への設置補助は考えていない。

答 総務課長

交通量の多い道路や設置を希望する地区・個人事業所へ経費助成の考えはないか。

問

犯罪抑止と住民への安心感の向上につながり事件の真相解明に役立つ効果があると考えている。

答 総務課長

防犯カメラの設置により犯罪対策の効果はあつて

問

村内の 防犯カメラ 設置状況 (台数)	
H28	5
R2	2
R3	4
R4	2
R5	17
R6	2

答 総務課長



赤坂 修 議員

■ GI 登録による効果実現に向けて



GI登録による効果実現に向けて

問

GIマークの使用やGI登録による恩恵を受けるためには、やまえ栗振興協議会への加入が必要であるが加入状況は。

答 産業振興課長

現時点で生産者、団体194の内46の個人団体が加入し、加入率は23・7%である。GI登録後7年間の経過措置があるが、それ以降協議会へ加入しないとやまえ栗の名称は使えなくなるので村また協議会とあわせて加入促進に努める。

問

GI登録による効果実現が協議会加入の一番の判断材料になると考えるが現時点での効果は。

答 産業振興課長

現時点ではマスメディアへ取り上げられる機会の増

加や販売単価の上昇を担当課では感じている。球磨栗と比較して800円以上の単価の上昇があった。

問

生産量が増えてくると加工票では処理しきれないやまえ栗も出てくると考えるが、市場等への青果栗としての流通の考えは。

答 産業振興課長

GI認定のステッカーも作っており今後ポールを

作りながらGI認定のやまえ栗ということで流通させていきたい。市場等については今後村としてどこまで流通が独自にできるのか調査し生産者と協議をしながら流通を考えていきたい。

問

村で生産された栗をやまえ栗のブランドで出荷していくためには、今現在JAが行っている各地区を回って集荷をしているこの集荷作業をしないと、やまえ栗

としての流通は難しくなってくるが考えるが集荷事業についての考えは。

答 産業振興課長

今後、集荷方法を考えながら軒先まで取りに行くのか例えば公民館単位で集荷するのか、ドライバー等の輸送経費のこともあるので今後、栗の駅建設の検討も併せて生産者の担当部署としても検討していきたい。

やまぐち栗

生産地: 熊本県球磨郡山江村
登録団体: やまぐち栗振興協議会

農林水産大臣登録第151号

特性
甘みの強さや栗本来の風味や香り等が「デシエ」や料理人から高く評価されておりやまぐち栗を使った菓子等が高級クレープや国産線ファーストクラスのデザートとして使われている。山江村とやまぐち栗との認識が需要者に定着しており、村の観光・経済を支える特産品となっている。

地域との結びつき
村の約9割を山林が占め、自生の山栗が多かったことから、江戸時代には栗が税として納められていたほか、昭和の初めから村をあげて高品質な栗の栽培に取り組み、昭和天皇へ献上されるなど認知度が向上。農家の8割がやまぐち栗を栽培し、村が「やまぐち栗条例」を制定するなど「村の宝」としてやまぐち栗を中心とした村づくりを推進。

やまぐち栗振興協議会 熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356番地の1

農林水産省 HP より



横谷 巡 議員

■ 農業を守り維持するための 施策について！

■ 幼児教育の重要性 ・村内学校の再編は！



問 農業現場に不可欠な機械購入の支援策は

農業転換期の今、小規模農家の営農を維持していくために、生産現場に不可欠な機械購入の支援策を講じる考えは。

答 産業振興課長

本年度から補助率40%、上限100万円の機械購入補助制度を設けた。個人への支援は難しいので、3戸で共同して申請する内容となっている。

新規就農者等の農業経営参入施策について

問

5〜10ヘクタール程度の受託耕作と栗栽培、牛飼育などを副収入源とする複合経営すれば、十分に自立できるのではないかと。また、建設業等の異業種の参入についての考えは。

答 産業振興課長

受託面積規模の確保や他の品種を生産する複合経営を推進することで、収入源の多様化等につながるの、提案を参考にさせていただきたい。建設業等異業種の参入によって農業振興に努めていければと考えているので、是非相談いただきたい。

新たな時代を担う幼児教育の重要性は

問

生涯に亘る生きる力や人間形成の基礎を培う幼



児教育の重要性についての考えは。

答 健康福祉課長

人格形成の基礎が築かれる大切な時期に質の高い幼児教育の実践は重要なことであり、学校教育とのなめらかな接続を図るために、幼・保・小連携プログラムを作成し、スムーズに入学できる体制を整えている。

村内学校再編の方向性について

問

児童生徒数の減少は喫緊の課題であり、子どもたちの将来、未来の教育環境に寄与する学校として、いつまでに再編の方向性を示されるのか。

答 教育長

学校のあり方についてアンケートを実施、統廃合に賛成の保護者が約65%、村民の賛成が約70%で、この結果に基づき、本年度「山江村小中学校再編検討会」

を立ち上げ、子どもたちにどういった学校がいいのかしっかりと検討してまいりたい。

淡島裏参道橋と県道改良工事の完成時期は

問

令和2年7月豪雨災害復旧工事である橋梁と県道の改良工事はいつ竣工するのか。

答 建設課長

県への委託工事として施工しているが、橋梁本体は完了しており、県道改良工事は本年度中の工事完了を見込んでいる。



県道改良工事の状況

令和7年第5回山江村議会臨時会

令和7年6月30日の1日間、第5回臨時会を開催し、条例改正1件、令和7年度補正予算1件の合計2件を可決しました。

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う、山江村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定。

令和7年度一般会計補正予算は611万6千円の追加が可決されました。

主な補正予算の概要は以下のとおりです。

令和7年度山江村一般会計補正予算(第2号)

歳入

国庫補助金	重点支援地方交付金	357万4千円
国庫委託金	参議院議員選挙費委託金	11万6千円
繰入金	ふるさと応援基金	242万6千円

歳出

再生可能エネルギー事業費	事業所省エネ推進事業補助金	200万円
参議院議員通常選挙費	投票立会人報酬等	11万6千円
商工費	宿泊キャンペーン事業補助金	400万円

令和7年度町村議会正副委員長研修会

令和7年7月22日、熊本県町村議会議長会が主催する「令和7年度町村議会正副委員長研修会」がオンラインで開催されました。会場を議事堂とし、関東学院大学法学部教授 牧瀬 稔氏を講師に、「議会改革と議員のなり手不足への対応策」を演題として講演がありました。



山江村議会 広報編集特別委員会

議会広報紙は、村民の皆様と議会との意思の疎通を図り相互信頼を培うため、重要な役割を果たしています。

山江村議会では4人の委員からなる広報編集特別委員会を編成し、定例会後に年4回広報紙を発行しています。

主に、本会議で決定した事項の概要や一般質問における質問内容と執行部の答弁を抜粋し、分かりやすくまとめた記事及び議員活動の様子などをお届けしています。

今後も、皆様に読んでもらえる記事の企画や紙面づくりを心掛けていきたいと思っておりますので、是非ご覧ください。



だんだんなぁ

立秋を前に厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今月号も最後までお読みいただきありがとうございます。

激しかった参議院選挙も終わり、田んぼの稲も随分と伸びてきておりますが、毎年のようにシカやイノシシの被害やジャンボタニシによる被害を耳にして心が痛みます。ジャンボタニシは山田地区にしか見られないと思っておりましたが、今年初めて温泉センター前の中鶴団地近くの田んぼで卵が確認され驚きました。これも異常気象によるものでしょうか、これ以上広がらず実りの秋を迎えられることを切に願うばかりです。

この様な暗い話題ばかりではなく、先月行われた球磨郡民体育祭において山江村も奮闘されました。中でもゲートボール女子の部におかれましては優勝という素晴らしい成績を収められ、参加された皆様には元気を頂きありがとうございます。順位に関係なくこれからも続けて頂けると幸いです。

まだまだ暑い日が続きますので村民の皆様お体を大切に下さってください。

(文責 本田 りか)

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長 本田 りか
委員 白川 俊博
久保山 直巳
北田 愛介